

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月31日  
職員8名に配布

事業所名

社会福祉法人あづみの森  
第3あづみ園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・パテーション等を使い、空間を区切って使用している。	・引き続き、子ども達の状況に応じて対応していきます。
	② 職員の配置数は適切である	88%	13%	・活動に応じてフリーの職員が入っている。	・休暇の職員を踏まえての配置を検討していきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	63%	38%	・バリアフリーではないが、安全を確保する為、手すりや反射テープを貼り、注意を促している。 ・状況に応じてパテーション等で区切って支援している。	・定期的に危険箇所を確認し、必要に応じて、改善していきます。 ・引き続きみんなに分かりやすい提示を検討し対応していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	88%	13%	・日々、消毒換気をおこない感染拡大予防を心がけている。	・今後も引き続き感染対策を徹底していきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	100%	0%	・職員会議などで情報共有している。 ・一人の課題を複数職員で共有している。	・引き続き行っていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・アンケート等で保護者の意見を聞き取っている。 ・保護者の要望に日頃から耳を傾けている。	・引き続き、保護者皆様のご意見を踏まえ、よりより療育をおこなっていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・一人ひとりの意見を聞き取り、定期的に評価表を配布している。	・引き続きHPでの掲載や玄関等での閲覧が可能にします。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	・現在は実施していない	・現在は実施していない
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	63%	38%	・コロナ禍で減少している。	・リモートや感染対策をおこない環境を整え、研修の機会を作っていきます。 ・状況に応じた研修会に参加していきます。
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・保護者への聞き取り、職員同士の話し合いで計画を立てる様にしている。	・引き続き、子どもの様子を分析し、職員間で話し合いを行い、支援計画に反映していきます。	

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・発達検査や知能検査の実施	・引き続き行なっています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		・引き続きガイドラインを確認しながら、支援計画に反映していきます。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・子どもの様子に応じて定期的に変更等もやっている。	・引き続き子どもの実態に応じた支援計画を作成していきます。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	88%	13%	・クラスや専門職と話し合いながら作成している。	・引き続き子どもの実態に応じた活動計画を作成していきます。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・子どもの個々の様子や集団の様子を踏まえて計画している。 ・個々の課題を考え、常に新しい活動を検討している。	・多職種で話し合いをおこないつながりながら作成していきます。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・心理士などと情報共有を行いつながりながら作成している。	・多職種で話し合いをおこないつながりながら作成していきます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・活動内容を共有し、職員の配置をおこなっている。	・引き続き職員間で情報共有し支援していきます。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・朝礼、終礼で活動内容などの確認や振り返りを行っている。	・引き続き職員間で情報共有し支援すると共に、反省や気づきを次の活動に反映していきます。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・前回利用からの変化などを記録している。 ・その日のうちに、職員間で情報共有をおこなっている。	・引き続き子どもの日々の様子を記録し、支援計画などに反映していきます。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・保護者の要望を踏まえて変更すべき点を判断している。	・引き続き子どもの日々の様子を基に、計画の見直しを行っていきます。	
		㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	88%	13%	・児発管が参加している。	・複数の職員が参加し情報共有が出来る様にし、参加が出来ない場合は、情報共有を行う。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・子どもの変化があれば、家庭状況を確認し関係機関連携をとっている。	・状況に応じて、関係機関と連携を行い、よりよい支援が提供できるようにしていきます。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・現在、利用している子はいません	・現在、利用している子はいません	

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現在、利用している子はいません	・現在、利用している子はいません
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・ケースカンファレンス以外にも、併行先へ連携に向いたり電話連携をおこなっている。	・引き続き関係機関と情報共有をおこなっていきます。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・入学前には子どもの様子を見に来園してもらったり、電話での連携をおこなっている。	・引き続き関係機関と情報共有をおこなっていきます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	43%	57%	・電話での連携等を行っている。	・引き続き関係機関と情報共有や連携をおこなっていきます。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%	・園としては難しいが利用児全員が併行保育をおこなっているため、併行先での交流はしている。	・状況に応じて、交流等を検討していきます。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	38%	63%	・担当者が参加している。	・引き続き対応していきます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・子ども達の変化を伝え、保護者からも家庭での様子を引き出せるように声掛けしている。	・引き続き、保護者の同意のもとでよりよい支援が出来る様になっていきます。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	88%	13%	・困り感を聞き取り、個別に対応している。	・引き続きよりよい状況で対応していきます。
保護者	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・書面を基に説明している。	・引き続き解りやすい説明をおこなっていきます。
	㉙	児童発達支援が1つの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		・引き続き、よりよい支援計画を作成していきます。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・個人懇談やカンファレンス等を行っている。	・引き続きよりよい状況で対応していきます。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13%	88%	・コロナが落ち着いたたら再開を検討している。	・状況をみつつ開催を検討していきます。

ハの説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者からの意見を職員間で共有し対応している。	・引き続き、迅速かつ適切な対応を心がけていきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月1回の園だよりやクラスだよりの発行。年2回の法人機関紙の発行で園での取り組みを発信している。	・引き続き、保護者に分かりやすい内容で発信していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・会報誌に写真を等を掲載する際には、契約時に説明し同意を得ている。	・引き続き適切に対応してまいります。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・必要に応じて視覚支援やモデルを示しながら伝達している。	・引き続き適切な対応を心がけていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・行事ではないが、緑化活動などで、支援頂いている。	・個人情報等で園内へ立ち入りは難しい為、園外で緑化活動などで関わりを持っていきます。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	88%	13%	・月に1回は色々な場面を想定した訓練を行っている。 ・訓練の日程については園だよりで通知している	・色々な場面に瞬時に対応出来る様に訓練を計画してまいります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・月に2回は色々な場面を想定した訓練を行っている。	・色々な場面に瞬時に対応出来る様に訓練を計画してまいります。
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・契約時に確認している。	・引き続き対応してまいります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・契約時に確認している。 ・職員全員が確認出来る様に一覧にして掲示している。	・引き続き対応してまいります。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	88%	13%	・実際のヒヤリハット場面を話し合い、再発防止をしている。 ・事故が発生した際には、職員で情報共有や再発防止の会議をしている。	・引き続き事故が発生した際には、職員で情報共有や再発防止の会議をしてまいります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	88%	13%	・虐待の研修に参加している。	・引き続き対応してまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	88%	13%	・必要な際には、保護者に説明をし、実施する様に意識統一している。	・必要な際は、きちんと段取りを経て実施する様にしていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名 社会福祉法人あづみの森  
第3あづみ園

保護者等数（児童数） 39家庭 に配布 回収率 89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無記入	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	97%	3%	0%	0%		・広くてのびのび過ごせている。	・敷地面積が広い分、環境を整え引き続き支援していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	94%	0%	0%	6%		・子どもにとってよい人数だった。	・配置基準に沿って職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	74%	20%	3%	3%		・子どもが過ごしやすい様に工夫がされている。 ・時々クラス表示が変わり子どもが戸惑っていた。 ・本人にわかりやすい構造化された環境になっているが段差はある。	・子ども達にとって分かりやすい提示を引き続き行っています。 ・構造上難しい場所に関しては、視覚提示や声掛けで安全を確保していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	94%	6%	0%	0%		・集中しやすい工夫や身体を動かせる工夫があった。	・子ども達の実態に応じて、空間を整えています。
適切な支援	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	97%	3%	0%	0%		・親の意見が反映されていた。	・子ども達の課題に応じた計画を引き続き行っています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	86%	3%	0%	11%		・ガイドラインの内容はよくわからないが、困っている事への対応を適切に頂ける。 ・適切な支援計画を設定されていると感じます。	・ガイドラインを基に作成していきます。

援の提供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%			・引き続き、個に応じた支援を行っていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	89%	3%	0%	9%		・色々な体験が出来る様に工夫されている。	・引き続き課題に沿った内容や、今後予測される課題に応じた活動を取り入れていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	63%	11%	9%	17%		・コロナなどで難しい。	・コロナが落ち着いたら、地域資源を生かしつつ交流が出来ればと思います。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97%	3%	0%	0%			・引き続き行っていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94%	3%	0%	3%			・引き続き行っていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	69%	14%	3%	14%		・個別指導の際に先生と話が出来ることがありよかった。	・子の実態に応じて対応していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	94%	6%	0%	0%		・送迎時に様子を知らせてもらえるのが良い。 ・コロナにより会う機会が減った。	・引き続き、保護者と共有しつつ対応していきます。
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%		・送迎時に様子を知らせてもらえるのが良い。 ・いつも助けてもらっている	・引き続き、送迎時や個別指導の時間等で対応していきます。・
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23%	29%	26%	23%		・コロナ禍なので仕方ない。	・コロナが落ち着いたら、再開をします。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	91%	6%	0%	3%		・いつも丁寧に对应してもらっている。 ・相談内容に迅速に対応を頂きました。	・引き続き、迅速かつ丁寧な対応を心がけます。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時に会えない時には電話での対応がしてもらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、子ども達の様子を連絡帳やおたよりにてお知らせします。</li> </ul>
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	91%	6%	0%	3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回楽しみにしている。出来れば写真部分が大きくして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、個人情報に配慮しつつ発信していきます。</li> </ul>
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	97%	3%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き注意して対応していきます。</li> </ul>
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	83%	6%	0%	11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、色々な状況を想定した訓練を実施していきます。</li> </ul>
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%	3%	0%	11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが「避難訓練した」と教えてくれる。先生からの訓練時の報告もありわかりやすかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、色々な状況を想定した訓練を実施していきます。</li> <li>実施日については、園だよりにてお知らせ致します。</li> </ul>
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>とても楽しみに通っています。休みの日はとても残念そうです。</li> <li>あづみが大好きです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、子ども達が楽しく登園出来る様に対応していきます。</li> </ul>
	㉓	事業所の支援に満足しているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに合わせた支援をしてもらえるお陰で少しずつ成長していると思います。</li> <li>親だけでは理由もわからず対応指定しまうが、どのように対応したらいいのかなど、適切なアドバイスをもらえる。</li> <li>保育所との連携があるとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、保護者、併行先の先生と子の様子や課題、支援を共有する事で、同じ意識の基で支援出来る様にしていきます。また状況に応じた支援方法の提案をしていきます。</li> </ul>

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。